

# 実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

令和2年4月1日現在

## 1年次生

### 専門教科（栽培・飼養管理）

科目名	学習のねらい	担当教員 (補助教官)	履修時間 ／単位		実務経験
農業基礎	農業と私たちの暮らしとの関わりについて学ぶとともに、農業技術の基礎を学び、農業機械や土壌肥料、施設園芸等の高度・専門的な技術習得へ発展させる基礎とする。	北岡 祥治 植田 博昭 小川 純一	3 2	2.0	普及指導員経験
作物	水稲の品種、栽培管理法、米の利活用および麦類・大豆の品種、栽培管理概要について理解するとともに、本県の実情を把握する。	広田 年信	3 0	2.0	普及指導員経験
果樹園芸	果樹の成長と果実生産について学習する。さらに、本県で栽培されている主要な栽培樹種を例に解説し、果樹栽培の基礎について学習する。	安宅 雅和 中島 聡志	3 0	2.0	普及指導員経験
野菜園芸	野菜に関する基本的な知識や栽培管理、園芸技術について知る。	佐原 義和	3 0	2.0	普及指導員経験
花き園芸	花き生産の基礎となる生育・開花生理並びに基礎栽培技術・新栽培技術を習得するとともに、花き経営、花きを巡る情勢等も理解する。	大西 祐子	3 0	2.0	普及指導員経験
畜産	畜産物を生産するための基本的な技術と本県における生産動向や畜産の最新技術情報について学ぶ。	北田 紫 増野 朋也	3 0	2.0	畜産研究業務経験 普及指導員経験
実用計算	農業における栽培技術や経営技術に必要な各種計算方法等を学習し、農作物栽培管理や経営分析に活用する。	赤井 昭雄	1 6	1.0	普及指導員経験
基礎演習 (農学実験)	土壌分析や各種観察等の演習を通して、農学の基礎能力の向上をめざす。バイオテクノロジーの基本的な作業管理を学ぶ。	北田 紫 植田 博昭 福井 奈都子 中野 昭雄	2 4	1.5	普及指導員経験
基礎演習 (農業簿記)	農業経営と家計分の記帳の分離により、農業経営の現状と将来の経営計画のために農業簿記を学習する。	榎本 健	2 4	1.5	農業会議にて簿記指導経験
基礎演習 (情報処理)	パソコンのビジネスソフトである表計算・文章作成・プレゼンテーションの基本的スキルを習得する。インターネットでの検索・情報収集の方法を学ぶ。	藤井 貞仁	2 4	1.5	大手外食系企業にて人材育成プログラム、コンサルタント経験
基礎演習 (作業演習)	農作業で使用する農具の適切な使い方、農業機械の構造と適切な使用、整備と管理及びドローンの活用と操作を学ぶ。	北岡 祥司 佐原 義和 林 博昭 赤井 昭雄 中四国クボタ 石井自動車学校	2 4	1.5	普及指導員経験 農業機械企業従事 ドローン操作教習 施設職員
農業・食品加工基礎実習	班編制により、果樹、作物・野菜、花き、土壌分析、食品加工及び畜産飼養管理について学び、進路選択やプロジェクト課題検討の参考とする。	各分野担当 畜産研究所	6 8	2.0	普及指導員経験
卒論演習 I	プロジェクトの課題設定から試験設計にいたる進め方を学び、計画書を作成する。	村田 光稔	1 6	1.0	普及指導員経験
小 計			3 7 8	-	

### 専門教科（経営）

科目名	学習のねらい	担当教員 (補助教員)	履修時間 ／単位		実務経験
経営学概論	経営学の基本について、企業を中心とするさまざまな組織の運営の事例に基づき解説する。	喜田 直康	1 6	1.0	普及指導員経験

### 専門教科（社会・経済）

科目名	学習のねらい	担当教員 (補助教員)	履修時間 ／単位		実務経験
地域農業	本県地域農業の現状や課題、今後の方向や普及指導機関による支援活動について知見を深め、地域農業の中核的役割を担う人材としての資質向上をめざす。	各農業支援センター所長 (川村 泰史)	1 6	1.0	普及指導員経験

### 専門教科（農業生産技術コース選択）

科目名	学習のねらい	担当教員 (補助教員)	履修時間 ／単位		実務経験
農業機械学	農業機械の主な作業機や水稲用機械の構造、安全な使用について学ぶ。	北岡 祥治	1 6	1.0	普及指導員経験
施設園芸学	本県農業の中心となる施設園芸について学習する。	大西 祐子	1 6	1.0	普及指導員経験
I C T利活用	I C Tを活用した今後の農業について事例をふまえながら学習する。	澤田 英司	1 6	1.0	普及指導員経験
コース実習 I	農作物や家畜の栽培・飼養管理体験を通して、将来の農業との関わり型を明確にする。	農業生産技術 コース職員	1 0 0	3.0	普及指導員経験
コース実習 II	農業生産技術の深化に関するプロジェクト課題を設計し、計画作成、発表練習を行う。	農業生産技術 コース職員	3 8 0	12.5	普及指導員経験
小 計			5 2 8	—	

### 専門教科（6次産業ビジネスコース選択）

科目名	学習のねらい	担当教員 (補助教員)	履修時間 ／単位		実務経験
食品加工演習	六次産業化研究施設に設置された機器を利用し、実習をとおして使用方法及び加工技術を学ぶ。	片山 環奈 渡辺 美智子	1 6	1.0	普及指導員経験
コース実習 I	農作物や家畜の栽培・飼養管理及び加工と商品化を通して、将来の農業との関わり型を明確にする。	6次産業ビジ ネスコース職員	8 4	2.5	普及指導員経験
コース実習 II	6次産業化の深化に関するプロジェクト課題を設計し、計画作成、発表練習を行う。	6次産業ビジ ネスコース職員	3 6 6	12.0	普及指導員経験
小 計			4 6 6	—	

## 2年次生

### 専門教科（栽培・飼養管理）

科目名	学習のねらい	担当教員 (補助教官)	履修時間 ／単位		実務経験
果樹栽培各論	我が国における主要果樹の栽培・利用について、生理・生態的特性から栽培技術までを勉強する。さらに、落葉・常緑果樹の生理的特性を比較し、その技術体系を理解する。	高野 公英	30 ①	2.0	農業高校教員経験
野菜栽培各論	野菜の基礎的な栽培管理と本県現地における実践的な生産動向や最新技術情報について学ぶ。	山田 盛生	30 ②	2.0	普及指導員経験
花き栽培各論	本県で栽培されている主要な花きの栽培方法について、生育相や開花調整技術等を通じて理解する。また花きの名称や主要な産地や経営面についても学ぶ。	大西 祐子	30 ③	2.0	普及指導員経験
家畜飼養衛生	畜産物の安全かつ持続的な生産を行うために、家畜飼養 畜産物利用 家畜の疾病予防および衛生対策について学び理解させる。	北田 紫林 和徳	30 ④	2.0	畜産研究業務経験 普及指導員経験
特産物生産	徳島県における地域農業の伝統的な特産物等について理解を深め、これら貴重な地域資源の活用方法など幅広い知識を学習する。	佐尾山 祥史	16	2.0	普及指導員経験
植物生理学	植物の生理現象について、基礎的な事項を理解する。	川村 泰史	30	2.0	普及指導員経験
植物防疫学	作物を病害虫から守るため、主な病原微生物等や害虫の生態、病害・虫害の症状、防除法、農薬について学ぶ。	中野 昭雄	30	2.0	普及指導員経験
農業気象学	農業生産における最大の制限要素である「気象」及び近年関心が高まる地球温暖化について、農業への影響について学習する。	川村 泰史 (徳島地方気象台)	16	1.0	普及指導員経験
高度技術演習	農業の直面する課題を集約するとともに、農林水産総合技術支援センターにおける試験研究・調査研究の現状と成果を紹介し、徳島県農業の問題点と解決策を探る。	各課研究員 (川村 泰史)	24	1.5	普及指導員経験
卒論演習Ⅱ	プロジェクト学習における成果のまとめ方や卒業論文の書き方、発表方法等について理解を深める。	村田 光稔 大西 祐子	30	2.0	普及指導員経験
卒業論文	プロジェクト研究成果を卒業論文としてまとめる。	卒論担当指導 教官	150	10.0	普及指導員経験
小 計			326	—	

①～④は選択科目

### 専門教科（食品・流通）

科目名	学習のねらい	担当教員 (補助教官)	履修時間 ／単位		実務経験
食の安全・安心	食品の安全性等について正しく理解する。	福井 奈都子	16	1.0	普及指導員経験
マーケティング論	マーケティングの概念やマーケティング活動のプロセスを学び、マーケティング的な視点による企業(経営体)の行動理解や自身の課題解決の一助とする。	植田 博昭	16	1.0	普及指導員経験
小 計			32	—	

## 専門教科（経営）

科目名	学習のねらい	担当教員 (補助教員)	履修時間 ／単位		実務経験
農業経営と組織論	農業経営を実践するために必要な基礎知識や農業・農村の中で農業者がかかわる組織の特徴や活動について、県内の事例をふまえながら学ぶ。	林 博昭	3 0	2.0	普及指導員経験

## 専門教科（社会・経済）

科目名	学習のねらい	担当教員 (補助教員)	履修時間 ／単位		実務経験
海外農業	農業における栽培技術や経営技術に必要な各種計算方法等を学習し、農作物栽培管理や経営分析に活用する。	赤井 昭雄	1 6	1.0	普及指導員経験
環境と農業	環境の基本的な現状と問題を学習すると共に、環境と共存する農業のあり方について学習する。併せて有機農業や環境保全型農業について学ぶ。	村田 光稔	3 0	2.0	普及指導員経験
農業政策	日本における農政の現状を理解するとともに、認定農業者や資金制度等各種担い手支援施策やグリーンツーリズムや様々な時事事例を検討し将来自らが営む農業がどのような政策のもとにあるのかについて学習する。	谷 友代 佐尾山 祥史 (農政局) (金融公庫他)	3 0	2.0	普及指導員経験
小 計			1 0 6	—	

## 専門教科（農業生産技術コース選択）

科目名	学習のねらい	担当教員 (補助教員)	履修時間 ／単位		実務経験
土壌肥料学	農作物の生育に必要な土壌環境、生物生育と土壌の化学性、物理性、生物性の関連、農作物の養分吸収及び施肥設計について学習する。	植田 博昭	1 6	1.0	普及指導員経験
GAP演習	GAPの基本的な考え方から県GAP、JGAP、ASIA GAP、GLOBAL GAPを幅広く演習する。	赤井 昭雄	1 6	1.0	普及指導員経験
コース実習Ⅲ	計画にそって互いに協力し合いながらプロジェクトを粘り強く実践する。	農業生産技術 コース職員	2 7 0	9.0	普及指導員経験
コース実習Ⅳ	計画に沿って農作物・家畜等を栽培管理・調査研究を通して、社会で必要な問題解決能力を養成する。	農業生産技術 コース職員	2 9 0	9.5	普及指導員経験
小 計			5 9 2	—	

## 専門教科（6次産業ビジネスコース選択）

科目名	学習のねらい	担当教員 (補助教員)	履修時間 ／単位		実務経験
コース実習Ⅲ	計画にそって互いに協力し合いながらプロジェクトを粘り強く実践する。	6次産業ビジ ネスコース職員	2 2 4	7.0	普及指導員経験
コース実習Ⅳ	計画に沿って農作物栽培管理、加工・商品化を通して、社会で必要な問題解決能力を養成する。	6次産業ビジ ネスコース職員	2 9 0	9.5	普及指導員経験
小 計			5 1 4	—	

## 実務経験のある教員等による授業科目の単位時間数

1年	栽培・飼養	経営 社会・経済	専門教科 (コース別)	合計
農業生産技術コース	378	32	528	938
6次産業ビジネスコース			466	876

2年	栽培・飼養	食品・流通	経営	社会・経済	専門教科 (コース別)	合計
農業生産技術コース	326	32	30	106	592	1,086
6次産業ビジネスコース					514	1,008

### 2年間

農業生産技術コース	2,024
6次産業ビジネスコース	1,884